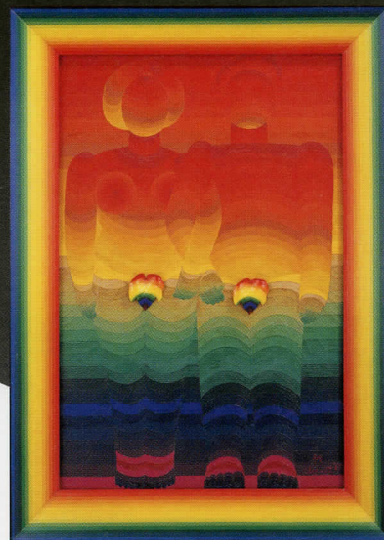


高松市美術館コレクション展Ⅱ

東西芸術家の出会い

2007.1/12^金～1/28^日



観覧「アダムとイヴ」1967年

EAST MEETS WEST from the collection of Takamatsu City Museum of Art Ⅱ

rtu

●休館日＝月曜日 ●開館時間＝火～金曜日(午前9時30分～午後7時)／土・日曜日(午前9時30分～午後5時)入室はいずれも閉館30分前まで
入場料 一般500円(400円) 高・大生300円(240円) 小・中生無料

●()内は前売りおよび団体20名様以上の料金 前売りは美術館1階受付にて開催前日まで販売 ●会期中の土曜日は高校生入場無料
●65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 ●主催＝高松市美術館

新・高松市誕生記念

Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711
ホームページ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html>

(出品予定作家 順不同)

村上 隆

田中信太郎

大竹伸朗

岡本信治郎

桑山タダスキ

河原 温

森村泰昌

荒川修作

幾 嘸

猪熊弦一郎

田淵安一

前田常作

嶋本昭三

元永定正

白髪一雄

堂本尚郎

加納光於

瀧口修造

菅井 汲

池田満寿夫

斎藤義重

エルスワース・ケリー

デイヴィッド・ホックニー

ジム・ダイン

アンディ・ウォーホル

ヴィクトル・ワザール

エドワード・ヘルシャ

マルセル・デュシャン

アドルフ・ゴットリーブ

サム・フランシス

サルヴァドール・ダリ

イヴ・タンギー

マックス・エルンスト

アンドレ・ブルトン

オーギュスト・エルバン

ジョアン・ミロ

パウル・クレー

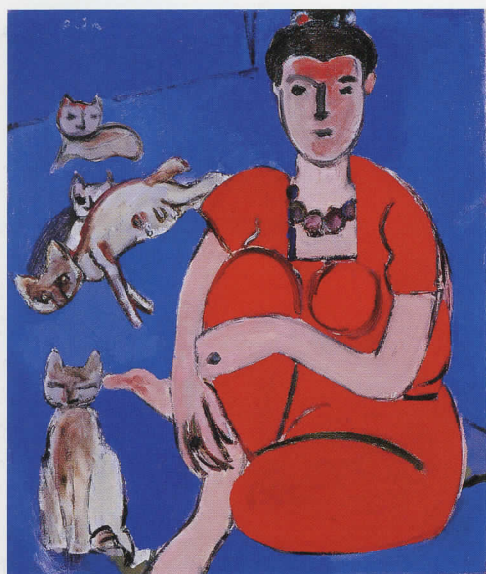
ワシリー・カンディンスキー

エルリシツキー

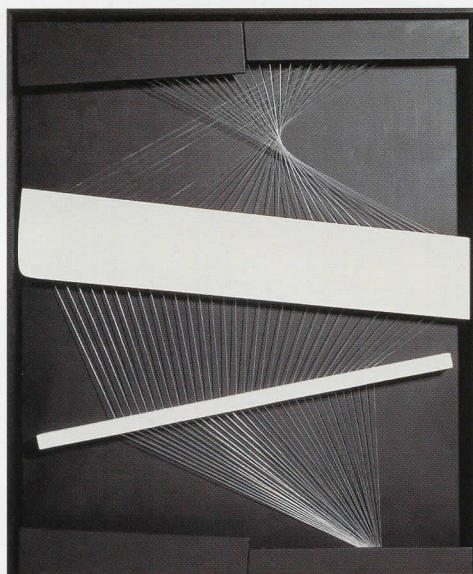
カジミール・マレーヴィチ

アンリ・マチス

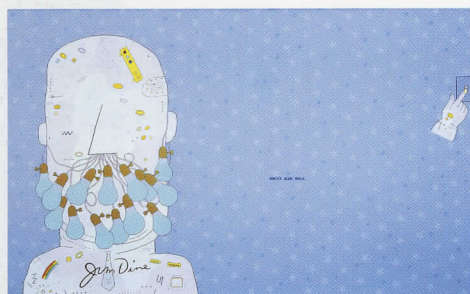
パブロ・ピカソ



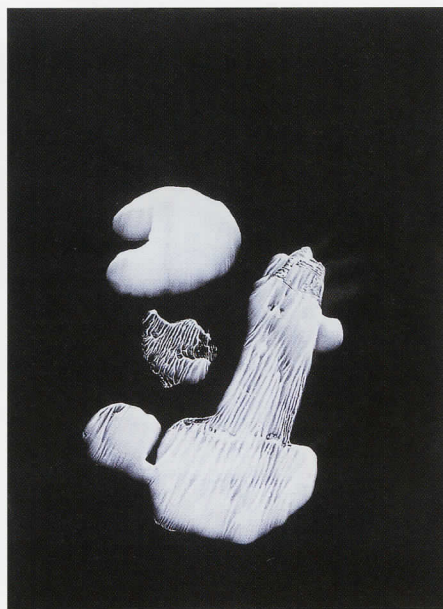
猪熊弦一郎「赤い服と猫」1949年



斎藤義重「カラカラ」1973(原作1936)年



岡本信治郎「大停電—ジム・ダインの肖像」1972年



瀧口修造「作品」



菅井 汲「無題」1954年

ギャラリートーク(観覧券が必要)

●当館学芸員によるギャラリートーク

1月13日(土)午後2時より2階展示室にて

●美術館ボランティアcivi(シヴィ)によるギャラリートーク

会期中の日曜日午前11時〜午後2時〜

1日2回2階展示室にて

常設展のお知らせ

●第5期常設展 1月12日(金)〜3月29日(木)

*特別展のチケットでご覧いただけます。

今後の催物のお知らせ

●ルートレック賛歌展 2月16日(金)〜3月25日(日)

アートで遊ぼう! (鑑賞プログラム)

●1月27日(土)(コレクション展Ⅱ)/2月10日(土)(5期常設展)/

2月24日(土)(ルートレック賛歌展)午前9時30分〜11時

対象:小学3〜6年生定員:15名(先着順)

3回連続で受講してください。お申込は美術館受付または電話で

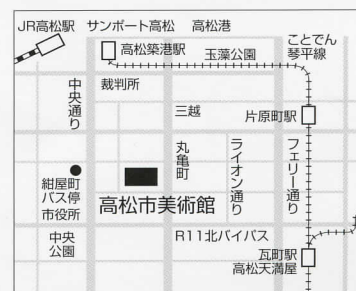
EAST MEETS WEST

from the collection of Takamatsu City Museum of Art II

このたびの高松市美術館コレクション展では「東西芸術家の出会い」と題し、日本と欧米の芸術家間の交流や影響関係などを、当館の所蔵作品約180点によりご紹介します。

1938〜40年滞欧した猪熊弦一郎と、彼に感化を与えたピカソ、マチス。1936年糸を張りメカニクな抽象レリーフ「カラカラ」を作り出した斎藤義重と、その創作に多大な影響を与えたマレーヴィチ、リシツキーらロシア構成主義の作家たち。1952年渡仏した当初鳥や猫をモチーフにユーモラスな絵画を描いた菅井汲と、その作風に影響を与えたクレー、ミロ。シュルレアリスムの特異なデッサンを試みた瀧口修造と、瀧口が関心を抱いていたエルンスト、タンギーらシュルレアリストたち。レインボーの画家・幾嘸と、彼が参加した60年代の前衛グループ・フルクサス。80年代以降の絵画シーンをリードする大竹伸朗と、彼が親交を結んだ英国の画家ホックニー。アニメのアイコンを自在に操り日本独自のポップを展開する村上隆と、モンローなどの大衆的アイコンを用いた元祖ポップ・アーティスト、ウォーホル・・・

日本と欧米の芸術家たちの間で交わされた、有名な／知られざる、さまざまな形の出会い。それらが日本の現代美術の世界を多様性に富み、魅力あるものになっているということを、本展を通して感じていただけると幸いです。



交通のご案内

JR 四 国 -JR高松駅下車、南へ徒歩15分
ことでん-瓦町駅、片原町駅下車、徒歩10分
バス路線-(ショッピング・レインボー循環バス)紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐 車 場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)